

11 さまざまな保健活動や対策

はじめに

学習指導要領にどのように書かれているかを確認することから始めます。この単元は学習指導要領上の位置づけとしては、**（2）生涯を通じる健康 ウ 様々な保健活動や対策** の内容に該当します。

指導要領解説には、

我が国や世界では、健康の保持増進を図るために、健康課題に対応して各種の保健活動や対策が行われていることについて理解できるようにする。その際、日本赤十字社などの民間の機関の諸活動や世界保健機関などの国際機関などの諸活動について、ヘルスプロモーションの考え方に基づくものも含めて触れるようにする。また、このような活動や対策を充実するには、一人一人が生涯の各段階でそれらを理解し支えることが重要であり、そのことが人々の健康につながることに触れるようにする。

と書かれています。

【理解できるようにすること】

○我が国や世界では、健康の保持増進を図るために、健康課題に対応して各種の保健活動や対策が行われていること。

【触れるようにすること】

- 日本赤十字社などの民間の機関の諸活動や世界保健機関などの国際機関などの諸活動について（ヘルスプロモーションの考え方に基づくものも含める）
- このような活動や対策を充実するには、一人一人が生涯の各段階でそれらを理解し支えることが重要であり、そのことが人々の健康につながること。

授業づくりの実際（指導と評価の一体化を意識して）

内容の取扱いの（8）には、指導に際しては、知識を活用する学習活動を取り入れるなどの指導方法の工夫を行うものとする。となっています。これは、「保健」の指導に当たっては、知識の習得を重視した上で、知識を活用する学習活動を積極的に行うことにより、思考力・判断力等を育成していくことを示したものである。指導に当たっては、ディスカッション、ブレインストーミング、ロールプレイング（役割演技法）、実習や実験、課題学習などを取り入れること、地域や学校の実情に応じて養護教諭や栄養教諭、学校栄養職員など専門性を有する教職員等の参加・協力を推進することなど多様な指導方法の工夫を行うよう配慮することを示したものです。

《例示》

【知識・理解】→指導方法と評価方法の検討

- ライフステージから見た各種の保健活動や対策について
- わが国の健康づくりのための対策の変遷について
- 日本赤十字社などの民間機関の保健活動について
- 世界保健機関など国際機関の保健活動について
- 保健活動や対策を充実するために大切なことは何か

【思考・判断】→指導方法と評価方法の検討

○世界には、各国が協力をしなければならない健康問題がたくさんあります。現在どのようなことが必要とされているかを考えてみよう。

【関心・意欲・態度】→評価方法の検討

○今日の学習のどの場面でどのように評価するか。

上記の指導方法や評価方法を念頭に、指導内容の順序や発問の仕方、知識を活用する学習活動の取り入れ方などを工夫し、1時間の授業を組み立てていきます。

本単元のキーワード

「ライフステージ」「ライフスタイル」「ヘルスプロモーションの考え方」「健康日本21」

「日本赤十字社」「NGO」「ODA」「WHO」